

# まちかど アルバム

## 世界が認めた郷土出身漫画家 谷口ジロー展

中央図書館



鳥取市出身の漫画家で、海外でも高い評価を受けている谷口ジローさんの作品展が、6月5日(木)まで市立中央図書館で開催されました。訪れた人は、本市を舞台にした作品「父の暦」の翻訳本などを興味深そうに眺めていました。最近、ドイツで最も権威のある2つの賞を受賞した谷口さん。ますますの活躍が期待されます。

## ふるさと物産館オープン

JR 鳥取駅



本市の特産品や伝統工芸品を展示・紹介する「鳥取市ふるさと物産館」が5月30日(金)、JR鳥取駅構内にオープンしました。記念の式典が行われた後、さっそく竹内市長と上杉市議会議長が特産の和紙や焼き物、地酒などを品定め。ここでは、市観光協会のスタッフが、商品の特長などをていねいに説明してくれます。



## ベトナム料理に挑戦!

佐治町

5月25日(日)、佐治地区保健センターで料理教室が開催されました。講師は、ベトナム出身で3年前から佐治町にお住まいの藤田さくらさん(左から2人目)と伊縫美花さん。町内の親子連れなど23人が参加し、生春巻きや、豆腐やパイナップルを使ったスープなどのベトナム料理に挑戦しました。参加者は、「家でも挑戦してみようと思います」と楽しそうに話していました。

## 1本1本ていねいに

鹿野町

6月3日(火)、鹿野小学校の5年生が、体験学習の一環として田植え作業を行いました。地元農業委員のみなさんに指導してもらいながら、もち米の「白兔餅」の苗を、手で1本1本ていねいに植えていきました。裸足で田に入ると足を取られて思うように動けず、中には転倒する子どもたちもちらほら。田植えが終わるころには、みんなが泥んこになっていました。秋には、稲の刈り取り作業を行う予定です。





## 因幡のしょうぶ綱引

### 気高町宝木

6月8日(日)、気高町宝木地区で「菖蒲綱行事」が行われました。「因幡のしょうぶ綱引」として国の無形民俗文化財にも指定されているこの行事。「古町」と「新町」に分かれた小学1年から中学2年までの男子が、大綱を持って「エイトー、エイトー、エイトー」と囃しながら家々をまわり、その後、両町の境界で綱を結び合わせて綱引きを行います。子どもの数が年々少なくなっていくことが、地域の人たちの悩みです。

## 中学生が職場体験

### 青谷町

5月26日(月)から30日(金)までの5日間、青谷中学校の2年生63人が、町内21の事業所で職場体験しました。このうち、スーパーマーケットに配属された高野雄大さんたちは、さっそく商品の陳列を行うなど、お店の一員として働いていました。「働く」ことの楽しさ、大変さを学ぶために行われているこの取り組み。市内すべての中学校で実施されています。ガンバレ中学生!



## 手軽でおいしいラッキョウの酢漬け

### 福部町中央公民館

6月7日(土)、福部町中央公民館で、町内外から大勢の人が参加して、特産のラッキョウを漬ける講習会が開催されました。初心者からベテランまで参加したこの講習会。ラッキョウの根を切る作業では、目にしみて涙を流す人も…。講師の指導のもと、全員が「かんたん漬け」を瓶詰めしました。1カ月後にはおいしく漬けあがって、食卓に並ぶことでしょう。

## 大盛況! マスつりフェスタ

### 国府町

袋川上流の国府町楠城地内で5月25日(日)、「国府マスつりフェスタ2008」が開催されました。今年で17回目を迎えたこのフェスタ。すっかり国府の名物イベントとして定着したようです。当日は小雨の降るあいにくの天気でしたが、約700人の太公望が大物を狙って、次々とさおを繰り出していました。この日一番の大物は48斤。釣り上げた人には豪華賞品が贈られました。



## 民俗行事「端午の節句」

### 河原歴史民俗資料館

6月7日(土)、民俗行事「端午の節句」が行われました。河原町民俗行事を語る会の協力で行われるこの行事も、今回で17回目。参加した町内の子どもたちとその保護者らが、清めの「かやぶき」を行ったあと、「三味線」と「ほうかあ」という巻き方で、笹まきを作りました。出来上がった笹まきは、笹がほどけて中身が飛び出しそうなものもありましたが、味は格別でした。